

ナウい空

01391364

私は、自分の墓穴を掘ったことにした。

誰に自慢するでもなく、草原に、たった1つ、自分の墓穴を用意した。

ここに入って土を被せれば、死ぬ。そういうことにした。

それを完成させて、下に降りて食事をした。

「美味しい？」という質問には、「美味しい」と答えておいた。

実際に何を食べたかは覚えていない。ミニトマトは入っていた。

それから風呂に入って湯を流しながら、死ぬのと存在が消えるのとでは意味が違うのだろうなと考えていた。

.....もう墓穴の横には掘られた分だけの土が湿って、柔らかく、置かれている。

死ぬ理由は、多分、生きているからだ。生きているから死ぬのだ。生きていなければ、自分ってどうなんだろう。

私がそんなにグズグズしているから、ついに墓穴は何も起きなかった。

煙を上げながら風呂場を出て、服を着替えて眠るだけだ。

生やら死やらの問題は、とてもデリケートだから、あんまり深く考えるのはよしておこう。いろんな答えがあって、それで良いじゃないか。なんとなく死にたい。

なんだか自分が少し賢げになった気分がした。